

5 分間ファイヤー・ドリル

【火点下階のときの避難誘導訓練】

< 最低訓練人数 = 3人 >

実際に自動火災報知設備を使って訓練を行うときは、必ず消防の指導のもと、近所迷惑にならないように注意して行いましょう。安全に下に降りれる階段があれば、地上に降りの方が得策ですよ。



「下の階が火事だ!下の階が火事だ!」と叫びながら さんは、廊下を走る。

自動火災報知設備等があれば、警報器を鳴動させてもよいです。

さんは、避難誘導訓練を行っている人の安全を確保しながら、さんを補助します。



さんは、お客さんの さんに、“おしぼり”を渡し、避難口に誘導します。

普段から避難場所の確認をしておきましょう!

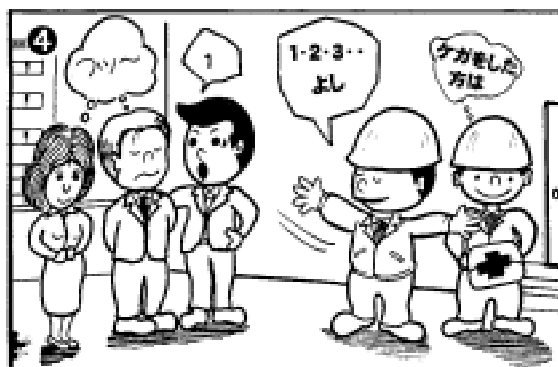
さんも“おしぼり”を忘れずに避難しましょう。



避難口から、廊下(又は避難階段)へ出て屋上(又は区画された安全な場所)へ誘導します。

姿勢を低く、“おしぼり”を口と鼻に当てて、慌てず、しかし、迅速に行動しましょう。

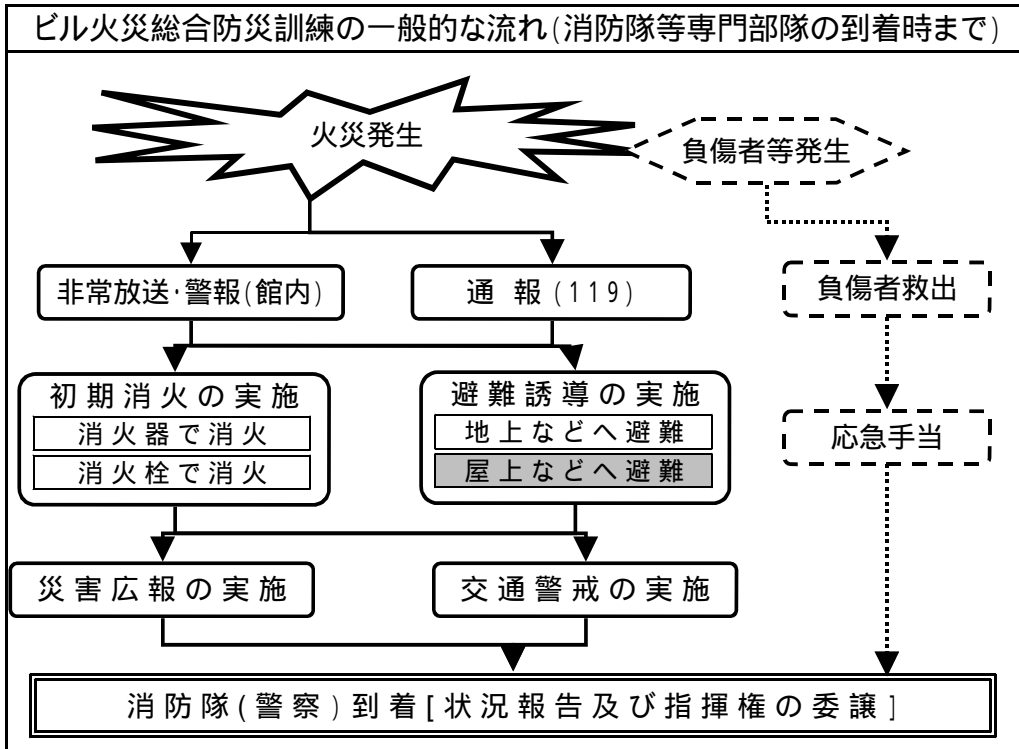
常に、声を掛け合いながら避難しましょう。



屋上(又は区画された安全な場所)の安全な位置まで誘導したら、お客さんが全員揃っていることを確認します。

人数の確認とともに、異常(負傷等)のないことも確認しましょう。

「避難誘導訓練」は、次の図のハッチング部分です！



訓練実施上の安全点検チェックリスト

平成 年 月 日実施

	点 検 項 目	確認欄
訓練前	・訓練実施者の健康状態は良いですか？	
	・訓練実施者の服装等は良い(手袋・保安帽・タオル・運動できる服装等)ですか？	
	・避難経路や避難場所のチェックは済んでいますか？	
	・訓練実施場所は、安全な場所(転落、転倒のおそれなし)ですか？	
	・訓練実施場所は、十分な広さがありますか？	
	・訓練実施者の準備運動は、済みましたか？	
	・安全対策要員(警備を含む。)の配置は、適当ですか？	
訓練中	・訓練実施者の行動に不安定さ(無理した行動など)はありませんか？	
	・お客様などを避難誘導する方法(声などによる指示)は、適当ですか？	
	・避難の姿勢は、適当ですか？	
	・避難時の煙対策は、適当ですか？	
訓練後	・訓練参加者の健康状態は良いですか？	
	・訓練場所に異常はないですか？	
	・訓練に協力していただいた方々にお礼を言いましょう？	

： お客さんなどを避難誘導する訓練のとき、特に注意しましょう。

= さあ！ 訓練をやってみよう！ =